

情報モラル教育 系統表 (小松市モデル) 改訂版 ~関連教科・単元追加~

平成19年度 情報モラル研究会
平成21年度 情報モラル研究会

① 情報の受信・発信とコミュニケーション

指導課題	小 学 校						中 学 校			
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	
コミュニケーションにおけるルールとマナー	○挨拶や礼儀正しくすることが他者とのコミュニケーションを図る上で大切であることを知る。	○うそや不確かなことを他の人に伝えてはいけないことを理解する。		○情報を得たり送ったりする時には、コンピュータ上のコミュニケーションであっても相手の気持ちを思いやることができる。<メール等>		○情報を発信する時は、正しい内容を伝えるときに、虚偽の情報や犯罪につながる内容を発信しないことの大切さを知る。	○インターネットや携帯電話によるコミュニケーションにおいて、相手の気持ちに配慮した内容や表現を考案することができる。自分の発信する情報の影響を考え、責任を持ってコミュニケーションツールが活用できる。<メール、チャット等>			
関連する教科・単元等	道「いつでも どこでも」 生「なかよし いっぱいだいさくせん」	道「きんのおの」 国「かんさつ名人になろう」		国「手紙を書く」		国「学級討論会をしよう」				
インターネットの特性をふまえたコミュニケーション			○本で調べたり体験したりすることの大切さを知る。	○コンピュータ上にあるものは現実を反映していない場合があることを知る。<インターネット、ゲーム等>	○短い文によるコミュニケーションは、お互いの意志が正しく伝わらない場合もあることを理解する。<メール、チャット等>	○インターネット上のコミュニケーションは、不特定多数の人に公開される場合もあることを知る。<チャット、掲示板等>	○インターネット上のコミュニケーションは、お互いをよく知らずに行われていることが多く、誤解や思いこみなどが起きやすいことを理解する。<メール、チャット等>			
関連する教科・単元等			国「本の探し方」	社「土地のとく色を生かした伝とう工業」インターネットで調べる	社「私たちの生活と情報」 国「インタビュー名人になろう」 国「ニュース番組作りの現場から」	道「わたしのしらないところ」(学校図書)				
情報の信頼性や信憑性への意識		○よく分からないことは、周りの人に聞くなどして確かめることができる。	○情報を得るには、インターネットで調べる他に図書館に行ったり、地域の人に聞いたりするなど、様々な手段があることを理解する。			○いくつかの情報を比較するなどして正しい情報を得ようとする。		○様々な情報源から得たことの確かさや有効性を判断すると共に、有害なものは無視することができる。<掲示板、アダルトサイト等>		
関連する教科・単元等		国「ともさんほどこかな」 生「ひろがれわたし」	理「出かけよう自然の中へ」			国「学級討論会をしよう」				

② 著作権・肖像権

指導課題	小 学 校						中 学 校			
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	
著作物等の利用のルールと法の遵守		○他の人が作ったものを勝手に自分のものにして使ったりしてはいけないことを知る。 ○他の人の顔や姿の写った写真を勝手に使ったりしてはいけないことを知る。		○著作権の存在を知り、身の回りにある著作物について認識する。	○他者の著作物を使うときには許諾を得るなどのルールがあることを知る。 ○肖像権の概要を知り、写真を撮るときや写真を使うときにはルールがあることを知る。	○他者の著作物を使うときには許諾を得るなどのルールがあることを知る。 ○肖像権の概要を知り、写真を撮るときや写真を使うときにはルールがあることを知る。	○著作権の基本的な内容や著作物の保護の重要性を知り、法を遵守することの意義を知る。 ○著作物を利用するときの基本的なルールや法律を理解する。 ○肖像権のある写真などを利用する場合の基本的なルールや法律を理解する。		○ネット上にある著作物をダウンロードするときの基本的なルールや法律を理解する。	
関連する教科・単元等		図「みて、みて、おはなし」 生「たんけんはっけん大ぼうけん」		図「ハッピーカード」※インターネット上のイラストを使う場合等	社「わたしたちの生活と情報」 国「インタビュー名人になろう」 国「ニュース番組作りの現場から」	道「のりつけされた詩」(学研)				

③ 心身の健康

指導課題	小 学 校						中 学 校			
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	
安全や健康を害する行動の抑制	○決められた利用の時間や約束を守る。	○健康のため利用時間を決めて守る。	○長時間の利用が心身の健康に影響を及ぼすことを知る。	○健康を害する行為は行わないようにする。<インターネット、ゲーム等>	○自分や相手の健康を害する行為は行わないようにする。<メール、チャット等>	○インターネットを通して人の安全を脅かす誹謗・中傷及び虚偽の情報発信等を行わない。	○仮想世界と現実世界とを区別できるようにする。 ○インターネット上で相手の意識した言葉や態度を身につける。	○実社会のコミュニケーションにインターネット社会のコミュニケーションをうまく取り入れながら、より良い人間関係を築くことの大切さを知る。	○目の疲れや肩こりなどの体の不調は作業改善と正しい作業習慣の実践によって予防できることを知る。	
関連する教科・単元等	学「夏休みの生活を考えよう」 「目の健康」「冬の生活」 道「ぶらんこ」	学「夏休みの生活を考えよう」 「目の健康」「冬の生活」	学「夏休みの生活を考えよう」 「目の健康」「冬の生活」	学「夏休みの生活を考えよう」 「目の健康」「冬の生活」	社「わたしたちの生活と情報」					

④ 情報化社会を生きる

指導課題	小 学 校						中 学 校		
	1	2	3	4	5	6	1	2	3
個人情報の保護	○自分の名前や住所、電話番号などを他人に安易に教えてはいけないことを知る。	○自分や家族、友達の名前や住所、電話番号などを他人に安易に教えてはいけないことを知る。	○個人情報には、どのようなものがあるかを理解し、安易に教えてはいけないことを知る。			○不特定多数の人に、個人情報を知られることによって、危険な目にあったり、人に迷惑をかけたたりすることを防ぐ。	○プライバシーの侵害の問題や個人情報の管理について知る。	○個人情報の重要性を理解し、流出を防止する。	○個人情報の財産価値、経済価値について知り、情報が盗まれやすいものであることを知る。
関連する教科・単元等	学「夏休みの生活を考えよう」	学「夏休みの生活を考えよう」	学「夏休みの生活を考えよう」						
コンピュータセキュリティの知識	○コンピュータの正しい使い方(電源の入切、画面の操作など)を知り、困ったときは先生や保護者に尋ねる。		○コンピュータやネット上で使うID・パスワードは重要なものなので、安易に他人に教えないことを知る。		○コンピュータウィルスの危険性を知り、不用意にWebページを開いたり、ファイルを開いたりしないようにする。		○ウイルスの実態や社会に与える影響、被害を受けないための知識、被害にあった場合の対処を知る。	○パスワードの管理の仕方と他人のパスワードを知ったときの適切な行動の仕方について考える。	○他人の掲示板に書き込み、不快な言葉や誹謗・中傷を発信する「なりすまし」の問題点と対処方法について知る。
関連する教科・単元等	図「どんどんならべて」 国「あつまれふゆのことば」		学「夏休みの生活を考えよう」		社「わたしたちの生活と情報」				
情報化が及ぼす暮らしへの影響	○魅力的な誘いに惑わされないように気をつける。	○学校や公共の施設にある物は、みんなが使う物であることを意識する。		○インターネットやメールをしていて、困ったときは先生や保護者に相談する。	○インターネット上には、詐欺などの犯罪や有害なWebページがあることを知り、安易にアクセスしないようにする。		○ネットショッピングなどの情報が正しいか慎重に判断する態度や、保護者の同意のもとに購入することなどを知る。 ○有害サイトの危険性やチェーンメールなどの問題を理解し健全な利用を考える。	○悪質なWebサイトやメールのトラブル、通信費用の高額化などの問題を理解し利用マナーを考える。	
関連する教科・単元等	学「夏休みの生活を考えよう」 道「よしみち」	道「キャッチボール」 「やぶれた本」		社「土地のとく色を生かした伝とう工業」インターネットで調べる	社「わたしたちの生活と情報」				